

大阪府立中央図書館

「卑弥呼の時代を描こう」展

大阪府立弥生文化博物館が開催した第23回博物館絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」の応募作品のうち、入選作品を展示いたします。

卑弥呼が生きていた弥生時代について調べたり、想像したりしながら描いた小学生・中学生の作品をこの機会にぜひご覧ください。

あわせて、今年は弥生時代の「河内の土器」を展示します。

興味のある方はぜひ図書館へ！

皆様のお越しをお待ちしております。



※写真は昨年度のものです。

関連講演会

卑弥呼の時代にみる「河内の土器」生産

- 「卑弥呼の時代を描こう」を楽しむために -

日付：平成30年9月23日(日曜日)

時間：午後2時～午後3時30分
(午後1時30分開場)

場所：大阪府立中央図書館 2階多目的室

講師：秋山 浩三さん (大阪府立弥生文化博物館副館長)

定員：80名(先着順・申込み不要・受講無料)



弥生時代の「河内の土器」(壺)

展示期間 9月19日(水曜日)～10月10日(水曜日)

開館時間 午前9時～午後7時 (土曜日、日曜日は午後5時まで)

展示場所 大阪府立中央図書館1階展示コーナーB・C

休館日 9月25日(火曜日) 10月1日(月曜日)
10月9日(火曜日)

大阪府立弥生文化博物館・大阪府教育委員会所蔵

共催：大阪府立弥生文化博物館

講演会

卑弥呼の時代にみる「河内の土器」生産

— 「卑弥呼の時代を描こう」を楽しむために —

大阪府立中央図書館の東方には生駒山（標高 642m）を望むことができます。

そのふもとで伝統的に土器や瓦、土仏などの〈焼き物〉がつくられていたことを、皆さんはご存じでしょうか。それらのうち素焼きの土器類に関しては、「河内の土器」「生駒山西麓産土器」「生駒西麓型土器」などとよばれ、考古学分野の研究において重要な位置を占めてきました。

講演会では、「卑弥呼の時代」をふくめ各時代にみられる、それら「河内の土器＝焼き物」の特徴をわかりやすく解説します。また、研究成果によると、ここでつくられた土器類が特別視され〈ブランド品〉などとして扱われていた事実も解明されています。

なぜ、「河内の土器」に、そのような〈不思議な力（パワー）〉があったのか。この点についても、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

講演会の参加に際して、障がいなどの状況により、配慮が必要な方は、事前にお知らせください。

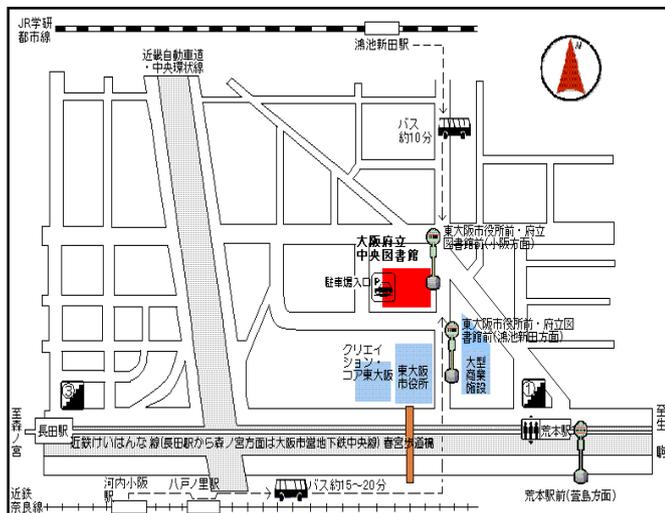
イベント 土器・銅鐸パズルに挑戦しよう！

日時：9月23日(日曜日)・10月8日(月曜日・祝日)
午後1時～午後3時

場所：大阪府立中央図書館1階こども資料室

参加費・お申込みは必要ありません。

大阪府立弥生文化博物館のみなさんによる『土器・銅鐸パズルに挑戦しよう！』を開催します。パズルを解きながら気分は考古学者！



大阪府立中央図書館 生涯学習事業 担当

〒577-0011

東大阪市荒本北 1-2-1

TEL：06-6745-0170 FAX：06-6745-0262

近鉄けいはんな線（地下鉄中央線乗り入れ）

荒本駅下車（1番出口）北西へ400M

有料地下駐車場有

（平日は100円/60分、最大料金500円

土日祝祭日は150円/60分、最大料金600円）

<https://www.library.pref.osaka.jp/site/central/>